

陳 情	受 理 番 号	10	受 理 年 月 日	令和3年8月30日	付 託 委員会	厚生経済
件 名	12歳以上の新型コロナワクチンに関する接種に関する陳情書					

12歳以上の新型コロナワクチンに関する接種に関する陳情書

(理由・背景)

現在、新型コロナウイルスが蔓延する中で県内における若年層の新型コロナウイルス感染症による死亡者は未だゼロであるが、12歳以上の児童生徒もワクチン接種の対象となり接種が開始されているため、mRNA ワクチンについての周知徹底をお願いいたします。

1. mRNA ワクチンは歴史が浅くヒトに実用化されたのは今回が初めてでありワクチンの安全性においては未解明の部分が多く残されている中、特例承認で接種が開始されていること。

2. ファイザー社の mRNA ワクチンの治験完了日は令和5年5月2日で、現在は臨床試験中での接種であり接種を受けた方々の健康被害が発生するのか公表は乏しく未知数であります。また多くの保護者の多くが学校や行政側から未だに十分な説明責任が行われていない現状の中、将来を担う若い世代の今後に不安を残す要因になりはしないかと危惧をしております。

3. 令和3年2月からワクチン接種後の健康被害が全国的に多くなっています。8月4日の厚生労働省の発表ではワクチン接種後の死亡者は919人と以上となっており重篤報告人数は3,338人となっております。

4. ファイザー社の 12~15 歳への治験では、ワクチンを接種した 1131 例中 5 例（0.4%）に重篤な有害事象が起こり、1131 例中 2 例（0.2%）は治験中止に至るほどの有害事象が起きている。このため、子どもたちへのワクチン接種は、ベネフィットが全くなく、高いリスクのみがあると考えられる。

ファイザー社、モデルナ社ともに、12 歳以上の子どもに対して、国内で治験が行われておらず、日本人と体格が異なる海外での治験データしかない。欧米や南アメリカ、アフリカの人々よりも日本人は平均的に体重が少ない傾向にあり、副反応が出現する頻度がさらに高いことが想定される。

については、下記事項につき要望いたします。

記

(願意・要望)

1 那覇市に在住の中学生・高校生並びに教諭の方々に対して mRNA ワクチンについてメリット・デメリットを再検証し周知徹底を要望いたします。

2 那覇市で新型コロナワクチン接種後に健康被害又は接種後に亡くなられている方が何名いるかの実態調査を要望いたします。那覇市のホームページに健康被害状況の掲載と市民への周知徹底を要望いたします。(三重県は公式にホームページに掲載しております)

3 ワクチン接種後、児童生徒の体調の異変が起こる場合を想定し、即対応可能な即相談可能な窓口の設置を要望いたします。

4 今回のコロナワクチンは『任意』のためワクチンを打たないと判断された方の人権侵害があってはならないと考えています。ですが実態は「就労先でシフトに入れてもらえない、上司からの圧力などがある」などの声が多数あります。

2021/2/19 「ワクチン未接種を理由に解雇、減給は不適切」で閣議決定をしています。

行政として今一度、不当な差別や誹謗中傷が起こらないよう企業や市民へ呼びかけを周知徹底を要望いたします。